

### つきたい力

主体的に学び、自分の考えを豊かに表現する力  
～書く活動を軸として～

### 取組みの概要・ポイント

- ・「したい」「やりたい」を引き出す授業づくり
- ・ゴールイメージを持たせた授業づくり
- ・評価基準を明確化した授業づくり

取組み紹介のスライドは  
こちらの二次元コードを  
読み取ってご覧ください



### 具体的な取組みの内容

## 「書くこと」における指導と評価の充実

主体的に学ぶ力を育むための授業づくり3本柱

#### ★「したい」「やりたい」を引き出す授業づくり

Point

見通し「単元マップ」の掲示  
興味を持たせる題材設定  
相手意識・目的意識を持たせる



#### ★ゴールイメージを持たせた授業づくり

Point

つきたい力、ゴールの言語活動を明確化した逆向きの授業設計  
子どもたちにゴールの姿を示したり、ゴールのモデル文を提示

#### ★評価基準を明確化した授業づくり

Point

評価基準を基に、子どもたちの具体的な姿や言葉を  
明確にし、判断基準「おおむね満足できる状況(B)」  
を設定する。



「単元マップ」の例

#### ■授業設計思考ツール

『単元計画シート』: 単元の資質・能力を育成するために「逆向きの授業設計」をする。

#### 『授業改善シート』: 「書くこと」につまずきのある

2種類の  
シート  
について  
はこちら

- ☐ (書きたくない・書くことがない・書き方がわからない) 児童への具体的なアプローチを考えるために活用

## 国語の授業以外で

書くことに慣れ、書くことに自信を持たせ、成功体験を積んでいくために

Point

- ★継続的に
- ★書く機会を増やし
- ★共有場面を大切に

#### ■年間プリント

- ①朝学プリント：基礎基本定着（漢字・語彙・文法）
- ②よみとりちゃん：読解力を育む
- ③カクトレ：正しく書く力・工夫して書く力を育む



#### ■にっこ二小ことばのたからばこカード

作文や日記を書くとき、物語文で登場人物の心情を想像させるときや人物像を捉えるときに活用させる。

#### ■書き技、作文チェックシート

その単元で学習した書き技などを教室掲示して  
その後の様々な「書く活動」で生かせるようにする。

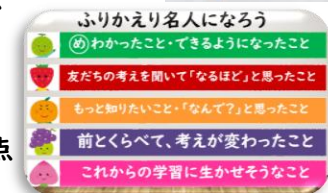
#### ■作文・日記指導

「書いてよかったな」と成功体験を積んでもらえるように、  
学級内や学校内で共有できる仕組みをつくる。

#### ■その他

国語以外の学習の中でも、書く活動を取り入れる。  
『ふりかえり名人になろう』を活用して具体的な視点  
を与えてふりかえりを書かせる。

〈例〉



### 取組みを通しての子どもの変容

- ◎「何を書いたらいいかわからない」「書きたくない」という子どもたちの発言が減り、書くことに苦手意識のある子どもたちも自力で書こうとする姿が見られるようになってきた。
- ◎子どもたちの「書いてみたい」という書くことに対する意欲の高まりを感じている。子どもたちに1学期と2学期で実施したアンケートで、「書く力が付いてきた」という児童は、64%→73%になり、様々な取組みを通して、肯定的な意見の児童が増え、書くことへの意欲や自信を持つことができるようになってきた。